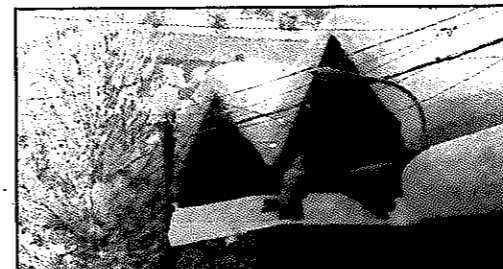
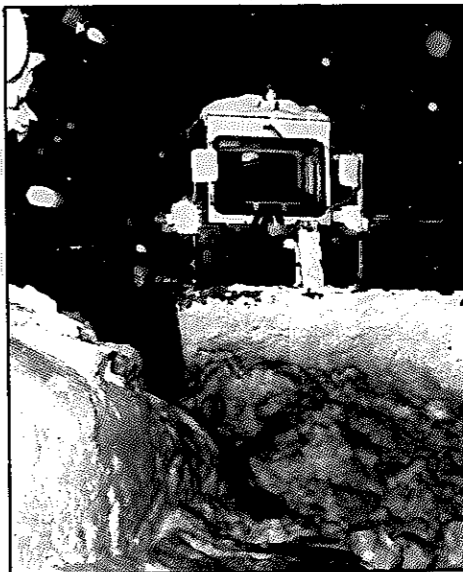
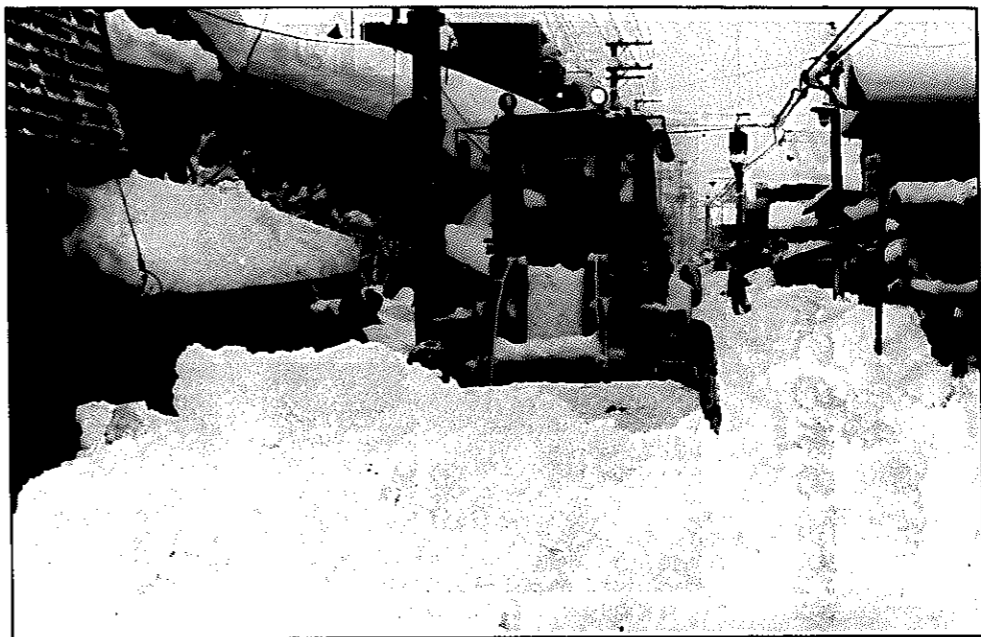


十四年ぶりの豪雪に懸命な除雪作業

積雪量122cm

七日夜から断続的に降り続いた雪は、十三日現在の積雪量が百二十センチ(地区消防本部調べ)に達し、積雪量としては実に十四年ぶりの豪雪となりました。

策本部を設置し、昼夜兼行で主要道路の確保にあたるなど、全力を注ぎました。市内のあちこちには慣れぬ手つきで雪降しをする姿が見られ、雪の始末に明け暮れた飛び石連休でした。



花吹雪の中を元気に遊ぶ姿が懐かしい

森山英子さん(下笠巻・主婦・30歳)

歩きたびに、ギシギシときしむ階段、色もあせ、デコボコになった黒板、校舎内全体に薄暗さを漂わせる驚巻小学校は、今春三月で終止符を打とうとしています。

四月からは大郷小学校と合併し、大驚小学校となります。子供たちは、すでに心は新校舎へと、希望と不安を胸に抱き、あれこれ夢をふくらましていることでしょう。

春になれば、校庭に桜の花が咲きほころび、花吹雪の中を元気に

っばい遊び回る子供たちの姿。また秋には文化祭がにぎやかに行われ、古びた教室には個性を生かしのびのび書かれた作品がずらりと並び、印象深く観賞したことが、つい昨日のことのように思い出されます。

これらの思い出を残し、あと二か月足らずで閉ざされようとしている驚巻小学校。長い間ごろうさま……。これからはゆっくと休んでください。

団地で行った手作りのさいの神まつり

大通喜与子さん(下塩俵・主婦・56歳)

団地の子供たちにもふるさとのイメージをと、一月十五日、小正月行事「さいの神まつり」を再現し、大通団地の子供たちは、伝統行事をたっぶり楽しみました。村の古老もおらず、寄ったかり

の新しい団地は、ゆとりの時間もないまま、郷土愛を育てるには程遠い土地柄であることは否めません。「何か心に残る思い出づくりを」と、いつも夢をもっておられる方々の物心両面の援助により、

スキーで仲間づくり

2月5、6日の2日間、赤倉スキー場で野外活動交歓のつどいが開かれました。雄大な妙高山麓いっばいに、参加した34人の若者たちは、スキー教室や雪上レクなどで楽しい2日間を過ごしました。



さわやかメロディー

白根高校吹奏楽部定期演奏会が、2月20日、同校第一体育館で行われました。高校生に混じって、市民の姿もちらほら。ロッキのテーマなどなじみの曲を中心に、次々と披露していました。

短歌



夜なべ終へ戸締まりせむと出で見れば

中天の月青々輝き霜柱たつ

かげろう立ちてしばし待つ春

川柳

包丁の芸術見事な活け作り

急流に逆ろう老いの口達者

孤児の踏む祖国の土は暖かい

籍入れて嫁より腹の子が安堵

金扉風に映える主役の角二本

嫁男子生んでどうだと言わん顔

ハミングで包丁踊る月給日

つきはぎの家計でもいい子に希望

御先祖を土台に新幹線走る

目標はいつも十年先に生き

小林キミイ

中村 京

中村 尚治

今井 七郎

後藤まさの

高橋祐四雄

長井 徳市

岡村 清

吉川 彰

山岡 フミ

本間 吾朗

竹石 甚五

俳句

悴せを求めて乗った希望駅
いつからか消えた日記の花言葉
枝ぶりに話しかけてる独り言

大井 義雄
西條 ムラ
吉川 末吉

恋猫や彼の安否を思ふ夜半

初風ろに洗い流すや喜寿の垢

寒梅の散りし寒夜の霊前香播ぐ

如月の空真つすぐに煙り立ち

惜しまれて菊の大輪散って逝く

吹雪道振り返らずや華浄土

春雪に唇もふれずに逝りし父

八十段のぼりて足の疲れたり

いぬつれし君のかけなし今朝の雪

底冷えの底に俳友逝き悲しけり

我が句友よ弥生梅見になぜ急ぐ

風雲に己にかてし友は逝く

妻の待つ花の浄土に行きし俳友

われも慕う遺影に寒夜の香をつく

大旗 豊治

石田 豊一

針貝 静男

中山 義英

桑原 平一

西山 静江

石田 豊美

田中 昭一

坪川桐太郎

真保 清三

牛馬 七郎

佐藤勇一郎

佐野 竹子

須戸 義夫

実施の運びとなりました。

午前九時、公民館で、団地の古老格からさいの神の意味を聞き、さいのかみかんじんだ ぜんでもこめでわくわくおいしおいし、意味がわからないながらも各家庭を訪れて、しめ飾りやみかん、お菓子などをもらってきます。そして、おばあちゃんたちの心尽くしの甘酒を飲みながら、ワラを積み、竹を組み、みんなで手作りのさいの神まつり。火が入り、息を飲むような竹のはじける音に、しばし我を忘れるひとときでした。

ただ感謝あるのみです。

次に団地のふるさとまつりでもあれば申し分なしですね。子供たちがそろいのハッピを着て、ワッショイワッショイとみこしをかっぎ、大通音頭を流す。住民一体となり、団地の発展につながるコミニティーづくり。みんなの知恵とアイデアで「自分の住む所は自分たちで豊かにしよう」を合言葉に、白根名物がまた一つ増えるのを楽しみにしています。



団地初のさいの神まつり。郷土愛を育てる年中行事に...



投稿ください。市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見をお寄せください。採用文には薄謝を差し上げます。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根二二三五 白根市役所企画財政課広報係です。